

# 採用選考試験に関する Q&A

## I 採用について

Q 1 愛知県の公立学校教員ということは、名古屋市立の小・中・高等学校・特別支援学校（養護学校）の教員に採用されますか。

A 1 名古屋市立の小・中・高等学校・特別支援学校（養護学校）の教員には採用されません。名古屋市立を除いた愛知県内の公立の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員として採用します。

Q 2 養護教諭として、県立学校で受験して、県立学校で採用された場合、小中学校へ配置されることはありますか。また、小中学校へ配置された場合、県立学校へ異動できますか。

A 2 県立学校の養護教諭採用者が小中学校に配置されることはなく、また小中学校から県立学校へ異動することはありません。

Q 3 何歳まで採用されますか。

A 3 一般選考の受験資格年齢の上限は、受験する年度の末日で59歳です。

Q 4 年齢、性別や地元出身者、講師経験者か新卒者かで合否に影響がありますか。

A 4 受験資格を満たしていれば、合否への影響は一切ありません。

Q 5 視覚障害者（又は聴覚障害者）に関する教育の領域を定めた特別支援学校教諭免許状しか所有していませんが、知的障害教育校へ赴任することはありますか。

A 5 特別支援学校教諭免許状で定められた教育の領域以外の特別支援学校への赴任もあります。

Q 6 赴任先の希望は聞いてもらえますか。配置校は地元になりますか。

A 6 赴任先の希望を尋ねることはありません。地元以外の遠隔地の学校への配置となることもあります。

Q 7 採用後、校種間の異動はできますか。

A 7 小学校教諭及び中学校教諭の合格・補欠者については、それぞれの受験区分により任用しますが、一定期間を経過した後に小学校及び中学校の校種間で異動することがあります。小学校、中学校以外での校種間の異動は原則ありません。

## II 出願資格について

Q 8 小中学校の特別支援学級の教員を希望していますが、特別支援学校の免許は必要ですか。

A 8 必要ありません。小学校・中学校の受験区分で出願していただくことになります。まず小・中学校の教員として採用されてから、所属長に、特別支援学級の担当希望を出していただくことになります。

Q 9 特別支援学校に出願する際、特別支援学校の教員免許は必要ですか。また逆に、盲・聾・養護学校・特別支援学校の免許のみで受験できますか。

A 9 令和6年度（2024年度）採用選考試験より、特別支援学校教諭等免許状を所有または取得見込みでなくても出願できるよう、出願要件を変更しました。ただし、当該免許状を所有及び取得見込みでない場合は、採用後3年を目処に当該免許状の取得に努めていただきます。

なお、特別支援学校教諭等免許だけでは受験できません。

Q10 特別支援学校中学・高等部社会を受験する際、所有免許は高校公民のみや高校地歴のみの免許で受験できますか。

A10 高校公民のみ、高校地歴のみ、高校公民と地歴のみでは受験できません。教科が「社会」ですので、中学社会の教員免許が必須です。その上で、高等学校の地歴や公民の免許を所持していることが望ましいです。

### Ⅲ 特別選考について

#### 1 英語有資格者特別選考

Q11 英語有資格者特別選考で実技試験が免除とありますが、得点が高い方が有利なのですか。TOEFLと英語検定とで有利不利はありますか。

A11 それぞれの得点をクリアしていれば、全く同等であると考えます。また、得点をクリアしていれば、TOEIC、TOEFL及び英検で、一切差を設けることはありません。仮に2つ以上の資格で条件を満たしていても特別の考慮はありません。

Q12 英語有資格者特別選考におけるTOEICについて、IPテストも有効ですか。

A12 公開テストに限ります。IPテストは不可とします。

#### 2 元教諭・講師経験者特別選考

Q13 第1次試験の教職・教養のみが免除となる場合と、第1次試験すべてが免除となる場合がありますが、どちらかを自分で選んで出願するのですか。

A13 出願に区別はありません。元教諭・講師経験者特別選考として出願してください。書類審査の結果、第1次試験のすべてを免除もしくは、第1次試験の「教職・教養」を免除の別について、受験票の配信をもって通知します。詳しくは受験案内9ページ及び10ページを確認してください。

Q14 どのような場合に第1次試験すべてが免除となるのですか。

A14 出願区分により異なります。詳しくは受験案内9ページ及び10ページを確認してください。

Q15 推薦書は、どのように提出すれば良いですか。

A15 出願時の勤務先や出願区分により異なります。志願者が所属長に推薦書の作成を依頼するのみで良い場合と、所属長が厳封した推薦書を、志願者御自身で直接郵送する必要がある場合がありますので、詳しくは受験案内6ページ、9ページ及び10ページで確認してください。

Q16 現在県立高等学校で講師をしています、中学校教諭の受験区分で出願します。市町村教育委員会教育長の推薦を得て、第1次試験のすべてが免除となる可能性はありますか。

A16 ありません。市町村教育委員会教育長の推薦を得るには、出願時に愛知県内の公立小学校、中学校、又は義務教育学校（名古屋市立を除く）に勤務している必要があります。詳しくは受験案内9ページ及び10ページを確認してください。

Q17 名古屋市立の学校での講師経験は、特別選考出願に必要な常勤講師経験として算定できますか。

A17 講師経験者に対する勤務実績として、算定できます。勤務実績は、講師の期間と正規教員の期間を合算することができますが、正規任用の教諭又は養護教諭としての勤務実績は、国立大学法人が設置する学校も含まれます。

なお、出願時における勤務する学校における所属長の推薦書については、「愛知県内の公立学校（名古屋市立学校を除く。）」となっていますので注意してください。

Q18 3年以上の常勤経験がありますが、現在特別支援学校の補助職員をしています。元教諭・講師経験者特別選考として出願できますか。

A18 現在、愛知県内の公立学校の職員（正規任用は除く）であり、所属長の推薦書があれば可能です。

Q19 高等学校や特別支援学校での常勤の実習助手、寄宿舎指導員の経験は、特別選考出願に必要な常勤講師経験として算定できますか。

A19 算定できません。常勤の教諭・講師の経験を算定できます。

Q20 出願資格の勤務実績は、愛知県内の学校のみが対象ですか。

A20 出願資格である、講師（非常勤の職にある者を除く。）の勤務実績は、愛知県外の国立大学法人が設置する学校又は公立学校も含まれます。

ただし、出願時においては、愛知県内の公立学校（名古屋市を除く。）で勤務している必要があります。

Q21 育児短時間勤務職員代替の「任期付短時間任用」の勤務経験は元教諭・講師経験特別選考の要件として認められますか。

A21 「平成28年4月1日から令和5年3月31日までの7年間において」必要な3年間の勤務実績には該当しませんが、「令和5年4月1日以降に愛知県内の公立学校（名古屋市立学校を除く。）の職員（正規任用の教諭及び養護教諭を除き、非常勤講師等を含む。）」には、任期付短時間任用の教員を含みますので注意してください。

### 3 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考

Q22 現在大学4年生ですが、仮に採用試験と大学院の試験に両方合格した場合、大学院に進学することも考えています。仮に大学院に進学した場合、大学院修了後、「大学院進学による採用辞退者への特別選考」を受験するにはどうすればいいですか。

A22 選考結果が合格の人には、結果通知発送時に、「採用に関する承諾・辞退書」を送付しますので、指定された期日（合格通知の発送から、約1ヶ月後）までに提出し、採用辞退の意志を伝えてください。

## IV 第1次試験加点申請について

### 1 外国語堪能者

Q23 養護教諭や栄養教諭区分でも外国語堪能者で申請できますか。

A23 できません。

Q24 外国語堪能者の「面接」ではどれぐらいの力があればよいですか。

A24 受験案内の12ページにあるように、「児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる程度の語学力を有する」ことが必要です。

### 2 社会人

Q25 申請要件において、「通算3年以上」とありますが、この3年は連続でなくてもよいですか。

A25 「通算して〇年以上」の区分と「連続して〇年以上」の受験区分があります。「通算して」と記載された区分においては、連続でなくても出願可能です。

Q26 申請要件の社会人経験はアルバイトや派遣社員の期間を含めてよいですか。

A26 常勤の職とは、原則としてフルタイムの勤務実績を考えています。派遣社員であってもフルタイムの勤務を基本とする職であれば「常勤の職」として考えます。アルバイトやパートタイムは「常勤の職」とはみなしません。

Q27 社会人申請について、複数の企業に勤めていた場合、それぞれの企業の在職証明書を取得する必要がありますか。

A27 各受験区分の所定の期間について勤務実績を証明することが必要です。該当の期間に複数の企業にお勤めであった場合には、それぞれの企業から在籍期間の分かる在籍証明書を取得してください。

Q28 社会人経験の証明書類には他にどのようなものがありますか。

A28 任用期間が証明できる書類が必要です。辞令等では任用の終期が明示されていないので予め在職証明書や職歴証明書等、任用の期間と出願時点で常勤の職であることが同時に証明できる書類が必要です。

### 3 複数免許状

Q29 高等学校教諭・地歴で出願する場合、高等学校・地歴に加えて高等学校・公民の普通免許状を所有していれば加点されますか。

A29 加点の対象となります。

Q30 特別支援学校教諭・社会で出願する場合、高等学校・地歴や高等学校・公民の普通免許状を所有していれば加点されますか。

A30 加点されません。特別支援学校教諭・社会の出願区分においては、中学校教諭・社会と高等学校・地歴、及び高等学校・公民の普通免許状は同一科目とみなします。

Q31 出願教科の免許状を含めて3教科の普通免許状を所有しています。この場合の加点は20点になりますか。

A31 所有又は取得見込みの免許状が3教科以上でも、加点は10点のみです。

#### 4 特別支援教育

Q32 特別支援学校教諭で出願する場合、自立活動の免許状は加対象になりますか。

A32 加対象の対象にはなりません。

#### 5 小学校英語

Q33 小学校英語におけるTOEICについて、IPテストも有効ですか。

A33 公開テストに限ります。IPテストは不可とします。

### V 電子申請・届出システムの入力について

Q34 インターネット環境がなく、申し込みができないのですがどうすればよいですか。

A34 申込手続については、ご自宅のパソコンでなくてもかまいません。知人や学校等のパソコンを使用し、申し込みを行うことも可能です。また、パソコンによる申し込みが難しい場合は、郵送による申し込みも可能です。

Q35 受験票を印刷するためのプリンタを持っていませんが、どうすればよいですか。

A35 受験票の印刷については、ご自宅のプリンタでなくてもかまいません。知人や学校等のプリンタやコンビニのマルチコピー機などを利用し、印刷を行ってください。

Q36 スマートフォンでの申し込みは可能ですか。

A36 パソコンだけでなくスマートフォンでの申し込みも可能です。

Q37 職歴数が11以上ある場合は省略してよいですか。全て記入する場合にはどうすればよいですか。

A37 職歴は、最新のものから入力してください。職歴数が11以上ある場合は、11を超えた分の職歴をテキストボックスにまとめて記載してください。期限付や臨時的任用で、任用の間に数日間の空白期間がある場合は、空白期間の入力は省略できます。

Q38 科目等履修生や、通信教育などで教員免許を取得した場合はどのように入力すればよいですか。

A38 最終卒業大学院・大学・短期大学を学歴欄に入力してください。ただし、免許取得のための科目等履修生や通信教育で単位修得した場合は「免許・資格に関する特記事項」の欄に入力してください。特記事項下の注意事項を参考にしてください。

Q39 複数の大学や大学院を卒業している場合にはどのように入力すればよいですか。

A39 最終卒業大学院・大学・短期大学を学歴欄に入力してください。  
短期大学を卒業後大学に編入した場合は、編入後の大学のみを記入してください。複数の大学を卒業した場合は、最終卒業大学を学歴欄に入力し、それ以前に卒業した大学は特記事項の欄に、卒業年月日とともに記入してください。また、免許取得のために単位取得した通信制の大学や科目等履修生などは学歴欄に入力せず、「学歴に関する特記事項」の欄に入力してください。

## VI その他

Q40 現職教諭特別選考の出願要件を満たしていますが、昨年度の補欠者でもあります。どちらの特別選考で出願すべきですか。

A40 どちらかを選んで出願してください。そのことで有利、不利はありません。このことは、書類選考の結果1次試験の「教職・教養」が免除となる、他の特別選考と同様で、2次試験では他の受験者と同様の内容で実施します。

なお、補欠者に対する特別選考は、昨年度と同一の受験区分・教科（科目）に限ります。

Q41 英語有資格者特別選考と他の第1次試験「教職・教養」免除となる特別選考を兼ねて出願することはできますか。

A41 可能です。英語有資格者特別選考は、第2次試験で英語の実技試験を課す、すべての選考と兼ねることができます。

Q42 第1次試験加点について外国語堪能者と社会人を兼ねて申請することはできますか。

A42 可能です。外国語堪能者は、第1次試験において当該外国語での面接を実施します。また、第1次試験を課す、すべての受験種別と兼ねることができます。

Q43 他県と併願しどちらも受かった場合はどうすればよいですか。

A43 愛知県が第1希望でなかった場合はすみやかに辞退届を提出してください。  
愛知県が第1希望である場合は他県に辞退の旨を連絡してください。

Q44 遠方のため、面接をなるべく早めにも実施してもらうことは可能ですか。

A44 時間の指定はできません。17時頃には、すべてを終了する予定ですので御承知ください。

Q45 試験会場へ自家用車で行くことは可能ですか。

A45 受験者のための駐車場は準備していません。必ず公共交通機関を利用してください。